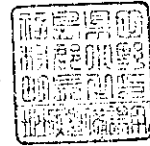


20小地第2267号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

福島県小野町長 矢 戸 良 三



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（報告）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼ありましたこのことについて、別紙のとおり報告いたします。

（事務担当 地域整備課管理水道担当 佐藤 0247-72-6936）

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般についての改善すべき点、要望や提案など

福島県小野町

- ・地方における道路整備の状況は未だに十分といえる状況にはほど遠く、さらに積極的に推進する必要がある。
- 地方においては生活に必要とする公共交通機関の発達が遅れており、今後整備が図られる状況にはない。このような状況の中で、地方における移動の手段の中心は車であり、地域整備の中心は依然道路の整備が第一となっている。
- また、緊急時における輸送手段の確保、地域経済活性化のための交流人口拡大等を図る上でも道路の整備は非常に重要である。
- 現在、地方においては人口の流失、高齢化が急速に進んでおり地域の担い手となる若者の定住化が大きな課題となっている。このような課題を解決するには、地域経済の発展と将来にわたる安心感が必要であり、地域整備の基本となる道路整備は今後も重点的に推進する必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

②ー1 地域の現状と抱える課題

様式②

福島県小野町

○現状

公共交通機関が発達していない状況で、移動の中心は車であり日常生活に必要な道路整備が不十分である。

安全安心なまちづくりの基本である緊急時における輸送道路の整備が不十分である。

地域活性化に向けた交流人口拡大のための地域間連携道路の整備が不十分である。

○課題

生活に密着した道路の整備が急務となっているが、財源の確保ができない状況である。

救急医療体制が整備された都市との連結を図る広域的な道路の整備が必要である

今後の道路行政についての意見・提案

②ー②地域の目指すべき将来像

様式③
福島県小野町

住民が安全で活力に満ちた社会及び経済生活を実現させるため、生活の基盤となる地域生活道路の整備促進を図る必要がある。また、物流の効率化・交流人口拡大のため、高速交通ネットワークの確立及び幹線道路網の整備を図り、良好な生活環境創造のための道路整備を促進する。

さらに、災害時の避難路や緊急医療時の輸送等、日常生活、地域の産業、医療等諸施策の展開に重要な役割を有することから、地域間骨格道路をはじめとする道路網の整備促進を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④

福島県小野町

○重点事項 ・地域活力の向上 ・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 ・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	○代表事例 磐越自動車道の4車線化 あぶくま高原自動車道の整備	○期待する効果や評価等 常磐自動車道、東北自動車道及び北陸自動車と広域ネットワークを形成して当町を含む地域の経済、産業、文化等の発展に貢献する 福島空港を經由し磐越自動車と東北自動車が結ばれ、今後地域経済の発展、交流人口の拡大等が期待される	○その他
---	--	---	-------------